

# 南三陸

第64号（令和元年10月発行）

# 復興まちづくり通信



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。



## 町民の安全を守る防災拠点が完成！ 南三陸消防署新庁舎落成式

東日本大震災の津波で全壊し、移転再建された南三陸消防署（昆野誠署長）の落成式が9月2日、志津川新井田地内の新庁舎（＝写真）で行われました。

新庁舎は、町が国道45号線沿いの高台に造成した志津川中央団地内の町有地6,940平方メートルを無償で借り受けて建設されました。鉄筋コンクリート造り

の平屋建てで、延べ床面積は約930平方メートル。事務室や会議室、ポンプ車などを格納する車庫のほか、将来的な女性職員の配属に向けて女子仮眠室も整備されました。屋外には鉄骨造りで5階建て（高さ17メートル）と3階建て（同10メートル）の訓練棟2棟が整備されました。事業費は約5億4千万円です。

## 「戸倉っこマップ」完成！ お披露目会開催

復興みなさん会が戸倉復興公営住宅入居者の皆さんと制作を進めてきた「戸倉っこマップ」が完成し9月19日、同住宅の集会所でお披露目されました。当日は、ワークショップに参加して地図のアイデアや盛り込む情報を提供して下さった入居者など11人が参加。フレームに入れられたマップが披露されると大きな拍手が送られました。当会の工藤真弓さんがイラストを担当したマップは、A2版でカラー印刷。戸倉地区の全世帯に配布されます。



## 福岡大生33人が下草刈りのボランティア作業

福岡大学「東日本復興夏期セミナー」に参加した学生33人が8月22日、志津川でボランティア活動を行いました。一行は、5年前に兵庫県加古川市立平岡中学校の生徒たちが植えた、上の山の「椿の避難路」の下草刈りをしてくださいました。皆さん、小雨の中での作業、お疲れ様でした。復興みなさん会では、大津波に負けなかった椿を復興のシンボルと位置づけ、避難所までの道しるべに椿を植える活動をしています。



## 上山八幡宮「秋の例大祭」にて夜神楽奉納

志津川上山八幡宮「秋の例大祭」が9月14日～15日の両日開催されました。14日の宵宮祭では復興を祈念し、本吉法印神楽会のメンバーが「道祖」「魔王」「産屋」などの演目を上演。参道と境内に手作りの竹燈籠や、かがり火が点され、幻想的な雰囲気の中で大勢の来場者が神楽の舞いを堪能しました。神社の駐車場では「たがい市」として焼き鳥やたこ焼き、クレープの屋台や、射的や型ぬきといった懐かしの縁日コーナーなど10の夜店が出店、祭りの雰囲気を盛り上げました。



## ～神戸フィルハーモニックがコンサート～

東日本大震災の被災者が暮らす伊里前復興公営住宅で9月15日、神戸フィルハーモニックの団員8人による「お茶っこコンサート」が開催され、住民など約20人が来場。「ラデツキー行進曲」や「庭の千草」などのクラシック曲や美空ひばりの「川の流れるように」などの曲に聴き入りました。

神戸フィルのコンサートは今回で9回目。テーマソングとなった復興支援ソング「花は咲く」の演奏では、聴衆全員が歌い、会場が一つになりました。



### 【あとかき】

台風15号で被害を受けた千葉県では電気の復旧が遅れて大変だった。暑い季節でもあり、熱中症による犠牲者も出た。大震災の頃を思い出した。私たちは寒さとの戦いだっただ。薪を燃やして暖を取り、寒さをしのいだ。電気の復旧には何カ月も要したが、そもそも家も電気器具も津波に奪われ、不向きも感じにくい状態だった。東京電力は福島での放射能との戦いに加えて、自然災害での送電設備復旧という戦いも強いられる。

便利な生活に慣れた私たちは、それが当たり前と思っているのだが、案外脆いものだと感ぜずにはいられない。

震災から8年半。復興は進んでいるかに見えるが、不便な生活から抜け出せているのだろうか？高齢化が進む中で生活インフラの復旧に課題が残る。

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26  
上山八幡宮 社務所内 [minasan.msrk@gmail.com](mailto:minasan.msrk@gmail.com)

当会は今年度、みやぎ地域復興支援助成金（宮城県）、おらほのまちづくり支援事業補助金（南三陸町）、みやぎチャレンジプロジェクト助成金（宮城県共同募金会）の支援をいただき活動しています。